

単元名 おなじ かずずつ

配当時間 1時間

単元の目標 (1) 数図ブロックの操作を通して、乗法や除法の素地となる「同じかずつ」の意味を理解し、乗法や除法の素地となるブロック操作ができ、それを図や式にかいて確かめることができる。
(2) 等分したりまとめて数えたりして、乗法や除法の素地的な見方で数を考えることができる。
(3) 具体物を等分したりまとめて数えたりし、それを進んで整理し表そうとする。

標準的な展開例

01040303_001

【準備等】数図ブロック

学 習 活 動	留 意 事 項 な ど
<p>1 具体物を等分する。[p. 147]</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 本時の学習課題をつかむ。 ★ おなじかずずつわけよう。 ○ クッキー12個を3人で同じかずずつ分ける活動をする。 ○ 「練習問題」に取り組む。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 同じかずずつ分ける操作を通して、除法の基礎的な見方ができるようにする。 ・ 数図ブロックを操作しながら分けさせる。 <p>【評】 同じかずずつ分ける操作活動を通して、「思考・判断・表現」を評価する。</p>

【 備 考 】

本単元は、数図ブロックやおはじきなどの半具体物を実際に操作させて、等分したり、いくつかずつに分けたりする経験をさせ、第3学年で扱う「わり算」の学習につながる「同じかずつ」の意味を理解させることが主なねらいである。同じに分けたりしながら、操作や図で説明したり、分けられた結果を式に整理して表したりする数学的活動を重点に単元を構想する。1つの数を多面的に見ることができるようにし、数についての感覚を豊かにすることが大切である。